



小さな姫は

×××に夢中です





昔々、とある王国に
双子のお姫様がおりました。

姉、リリアーナは
コミュニケーション能力に
優れ、それは謁見や外交等に
遺憾なく発揮されました。

妹、ルルアリアは知識欲旺盛で
卓越した知識を持って
姉をサポートしました。

二人のお姫様は、
それはもう仲睦まじく
王国の将来は安泰だと
国民は皆、安心しています。

※この本は
妹・ルルアリアが
メインのお話です



妹・ルルアリア

姉・リリアーナ

はじめまして：
わたしはルルアリア・
ラウエルディバルド
十歳です

姫と言っても
わたしは妹…

お姉ちゃんに
任せとけー!!

将来の女王はおねえちゃん
なので、姫としての公務は
全部お任せしています

ただ、残念なことに
おねえちゃんは
お馬鹿さん…

わたしは将来、おねえちゃんを
サポートすべく本を読み漁って
色々な知識を得ていきました。

フェルディバルド王国の
双子姫(妹の方)です。

得た知識は様々です
哲学や宗教学…
天文学や経済学…

そして…

ドキ

ドキ



暇さえあれば
オナニーしてしまう

えっちなことばかり考えてしまう
姫らしからぬ、はしたない女の子に
なってしまったのです

そんなわたしが
オナニーだけで
満足できるはずもなく

セックスがしたくて
堪らなくなっ
てしまっています…

潮…いっぱい
吹いちゃった…

しかし…セックスは
相手探しが大変なのです

わたしは今日…
王国の外にある
スラム街を訪れました

ここは王国の法も
及ばぬ危険地帯…
麻薬や強盗、売春など
犯罪が蔓延しています

なぜこんな危険地帯に
来たか…

みられてる…

ここにはわたしの素性を
知っている人はいません

そしてここは売春が
蔓延しています

ここなら
もしかしたら…

ねえねえ
その君

ちょっといいかい？



誰かがわたしを買って…
セックスしてくれるかも
しれません…

もしかして、援助して
くれる人を探して
いるのかな？

※1ゴールド = 100円



ほら…やっぱり…

買うよ
いくらだ？

えっと…じゃあ
5ゴールド…です

は!?
安ッ!

じゃあって
なんだよ…

三人なのは
予想外でしたが…

一回で三回分経験
できるんだから…
お得…なのかな…?

身売りを承諾した
わたしは、売春宿へ
連れていかれました

名前なんての？
歳いくつ？

ヤウくんね！

ル…アリアです…
1●歳です…

へえ、アリアちゃん
て言うんだ

その歳で体
売ってんだ

セックスする前に
色々聞かれましたが…
わたしが姫だって事
バレてないよね…

三人は今まで何度も
売春したけど、
わたしが最年少
と言っていました

カチヤ

カチヤ

生挿入はOKだけど
中出しはNG？

それでいいのか…？

お、大きい…
これが、わたしの
体の中に…
入るかな…？

ドン

まあ、まずは口で
してくれや

うわ、

こう…ですか…？

トロッ

そうそう、
うまいぞ

行きずりの…
知らない人の
おちんちん

わたしのお口を犯す
太くて硬くて巨大な
おち●ちん…

おお、幼女の口マ●コ
ぬるぬるで最高だぜ

すごく臭くて
苦いけど…

んんんッ

こっちも頼むよ

とっても濃い
雄の匂い…

まだお口でしか
してないのに…

どうしよう…わたし…
おち●ちんが欲しい…

ぎこちないけど
なかなか悪くないな

しっかり舌を
絡ませてくるぜ

はぁッ

はぁッ

はぁッ

そんなに精液
ほしいの？

わたしの子宮が
おち●ちんを
求めちゃってます…



ほらっ！
お待ちかねの
精液だぜっ！

んんんっ…！

ビク
バク



口開けてみ？

はあ

はあ

おい、いっぱい
飲んだな！

あー

早く…熱いおち●ちんで
わたしの奥をかき混ぜて
ほしいです…っ

ゴ
ロオオ



んんんっ

口と顔を精液漬
けにされて…

ゴ
ロ



んああッ

体の疼きが益々
止まりません…

ゴ
ロ



恥ずかしがってる
割にはもう
準備OKじゃねーか



アリアちゃんのおっぱい
ちっちゃくて可愛いな！

うー

…あんまり
見ないでください…

恥ずかしがる
アリアちゃん
可愛いすぎんだろ



そんなにに入れて
ほしかったのか

まだ十歳なのに
とんでもねー幼女だな

シッ

シッ
シッ

ああ、ついにわたし…
ぶっとい大人おち●ちん
で犯されちゃうんだ…



ほれ、お待ちかねの
チ●ポだぜ

ぐ
い
ッ

…おっきいのが
わたしの大事な所に
無理やり入って…



おらっ！幼腫に
ぶち込んでやったぜ！

すごいですっ…！
あんな大きなのが…
小さなわたしの体に入
ってますっ…！



…っ！幼女マ●コが
キュンキュン締め付けて
きやがるっ！

こいつは
とんだ名器だ！

セックス…気持ち
よすぎです…っ！



わたしの子宮…
知らない人の
おち●ちんの形に
されてしまってます…っ



少し苦しいけど…
頭が痺れて…



ほら、俺のも
ちゅちゅいお手々で
擦ってよ



ロマ●コにも
挿入っつと!



こんなマ●コ
経験しちゃったら
もう大人の女とは
やれねーじゃんか!

すごい…っ…
子宮をぐちゃぐちゃに
犯されて、わたしの体
悦んじゃってます…っ



もつとチ●ポ
味わせてやろうぜ

とんでもねー
十●歳だな

おいおい…
見ろよこの顔！
完全に発情しきった
メス顔じゃねーか！

ああ…おち●ちん
美味しすぎですっ…
もつとほしい…





俺らのチ●ポ、
大人の女でもキツいの
に
末恐ろしいぜ

やべえわ俺…
ロリに目覚めそう

気持ちよすぎるよっ！
このまま中に出してえ
いいよね、アリアちゃん

な…中出しはあ…
ダメです…っ！



だめですっ…！
中に出したら…赤ちゃん
できちゃいます…っ！

いいじゃん
俺たちの子
孕んでくれよ

や…やあ…っ！

気持ちいいけど…
中出しされるのは…っ
やめさせないと…っ…！

わたしの中でっ…
おち●ちんが
二本とも膨らんで…



んな事言ってもなー
俺もう出そうなんだよ

どうせナマでやって
んだしいいじゃん





わ…わたしの中に
濃い精液いっぱい出して…

孕ませてくださるっ…！

よく言えました！
じゃ、遠慮なくッ！

あ…

ああッ

ああああッ
ああッ

びしょ

びしょ



熱くてどろどろしたのが
私の中に纏わりついて…
最高に気持ちいい…
これが中出し…

次は俺が
マ●コな！

ずるいぞ！
俺の番だっ！

よかった…
彼らはまだわたしを
犯してくれるようです

一回射精されたのなら…
後はもう何回出して
貰ってもいいですよね…

その後は男の人たちが
満足するまで…
ただひたすらに
犯され続けました

気持ちいい姫様？

はいっ…とても…
気持ちいいです…

あーっ

また中に出しちゃった
けど、いいよね？

はい…っ

ズンズンズン

安心した姫様！

姫様が満足するまで
何度でも出して
やるからな！

ズンズンズン

姫様のかわいい
おっぱいに
ぶっかけ！

ドロドロ

何度も何度も射精され、
体中をドロドロに
されてしまいました…



ついにはもう
頭が真っ白に
なってしまう！

おいおい、姫様がしちゃ
いけねー顔してんぞ

輪姦されすぎて
壊れちゃったか？

でも、姫様マ●コ
射精するたびに
締めよくなってるね？

体もずっと
イキっぱなしに
なっていました…

こんな気持ちいい
ロリマ●コ、
やめらんねえ！

ほら、また出すぞっ！

男の人たちが満足する頃には：
もう気持ちよくなる事しか
考えられない体にな
ってしまいました…

いやあ気持ちよかった
最高だったぜ姫様

輪姦してほしくなったら
いつでも来な！
めちゃくちゃに犯してやるから

は…い…

次会うときはは
ロリ姫ポテ腹が
見えるかしんねーな！

楽しみだぜ

思った通り…
セックスは最高でした





みなさんこんにちは



あたしの名前は
フルアリア・ラ・
フェルデイバルド。
フルデイバルド王国の
第二王女です。

まだ未熟ではありますが、
第一王女である姉の
サポートとして日夜
国民の皆さんの為に
尽力しています。



そんなあたしにも…
国民にはとても
言えない秘密が
あります



姫であるあたしが
欲望に負けて
ずるずると
続いている事

いとしき
とてもいけないことだと
分かっていても…
どうしても辞められない
あたしの秘密…



こんにちは…

それは…

ガッ



いらつしゃい
ルルアリア姫



ストッ

見ず知らずの
おじさんたちが
差し出すこの首輪

ドクドク♡

この首輪をつけると...

あたしは...







俺たちの精子、
受け取ってくださいっ！

姫様！
射精ますっ！

ヒッ
ユルル



おじさんたちは…
あたしのお口で
気持ちよくなっ
てくれたようで…

たくさん…あたしに
精液をごちそうし
てくれました…

精液はねばねばして…
苦くて臭いの…

どうしてこんなに
欲しくなっ
てしまうのでしょうか…

びゅーっ



姫様のお口のご奉仕
めちやくちや気持ち
よかったつす！

お返しに俺たちの
チンポ、思う存分
お召し上がりください！

いよいよ、おじさんたちの
おちんちん…挿入です



おおっ！
姫様のまんこ
ぷにぷにしてて
最高だあ！

おじさんたちの
おちんちんは
とても大きく…

あたしの小さな
おまんこを…
無理やり広げて
侵入してきます

入りましたよ
姫さまっ！

あああ
あああ

姫様まんこ、キツキツっ！
なんという名器だっ！
さすがプリンセス！

びく

ズッ
ズッ

無理やりねじ込まれた
おちんちんは…あたしの
一番奥を容赦なく
突きあげます…

ずん

びん

力づくで侵入し…あたしの
中を支配していくこの感じ…
本当に気持ちよくて…
癖になっちゃいます…

姫さまっ！
後がつかえるので
どんどんいきますよ！

ちよつと激しく
犯しちゃいますけど
いいですよね！



どうですか姫様ッ！
俺のチンポの味は!?

ブキッ

グッ

グッ

グッ

はいっ…凄くおつきくて…
あたしの中をぜんぶ
埋め尽くしてくれてっ…
とっても気持ちいいです…っ



このおじさんは…
あたしのおまんこが…
すぐく気に入って
くれたようで…

腰を激しく…動かし続け…
おおきなおちんちんで
あたしを犯し続けました…



姫さまっ！
お尻でもぜひチンポ
味わってください！

一人目のおじさんが
絶倫で…なかなか
終わらず…

二人目のおじさんが
待ちきれなくなっ
てしまったようで…



ああっ！これが
プリンセスアナル！

搾られるッ！

二穴を同時に突かれ
少し意識が飛びそうに
なっていました…



俺たちばかり
気持ちよくなって
すみません！

姫様もこれで
キメちゃいましょうね！

そう言っ
ておじさん
たちは
注射器を
だしました

お薬…？

これはきつと…いけないお薬…
分かってるのに…
キメちゃうお薬…
興味津々だったあたしは…



その即効性の薬を受け入れ…

ふふ、プリンセスとは思えない顔になっちゃいましたね

そこからは…あまりの快感に…おちんちんのことしか…考えられなくなっていました



ひたすらおちんちんを
求め続けるだけに
なってしまったあたしを

おじさんたちは：
容赦なく：あたしの
全ての穴を使って
犯し続けました



おじさんたちは
精液をいっぱい
飲ませてくれましたが…

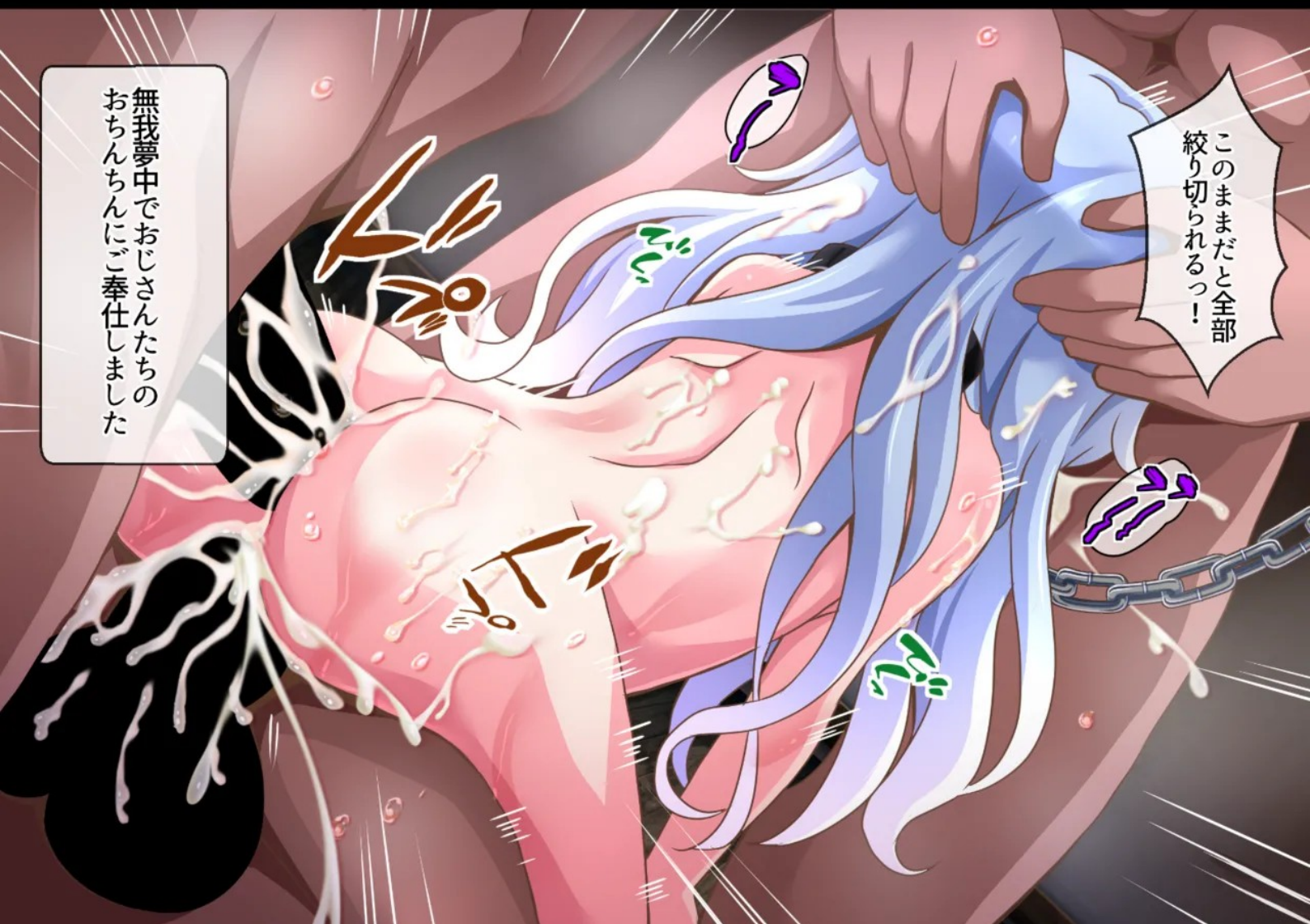
飲めば飲むほど、もっと
精液が欲しくなってしまうて…
あたしは無我夢中で
おちんちんを咥え続けました



おちんちんが…
精液が欲しい…
あたしはそれだけしか
考えられず…

止まらないっ！
姫穴気持ち良すぎて
止まらないっ！

こんなに精液出るとは
思わなかったっ！



このままだと全部
絞り切られるっ！

無我夢中でおじさんたちの
おちんちんにご奉仕しました



おじさんたちも
あたしのご奉仕に
応じるように！



たくさんたくさん！
ほんとうに沢山精液を
あたしに射精してくれました

このままだと俺ら、
姫様にカラカラに
されちゃうぜ

姫様の性欲、
底なしだな

ビュルルルル

ビュルルルル

ビュルルルル

ビュルルルル



あとがき

別サークルのゲームのサブヒロインとして
初登場したルルちゃん。
同人誌がいつの間にやら4冊目…！？
まさかこんなに続くとは思っていませんでした。

よろしければぜひ「アルケミープリンセス」も
プレイしてみてくださいm(_ _)m

奥付

●誌名 小さな姫は×××に夢中です

●発行 2023年12月31日
コミックマーケット103

●発行元 ああああ一族組合

●著者 藍浦あいう

●Mail aaaa.aiura@gmail.com

●BOOTH <https://aiura.booth.pm/>

●X(旧Twitter) @aiu_iroha





2023 WINTER